

# 地域の子育てサポーター「母子保健推進員」

健康増進センター ☎048(473)3811

各町内会長から推薦され、市長に委嘱（2年任期）を受けた121人の母子保健推進員が、健康増進センターと連携を取りながら、それぞれの地域で母と子のしあわせを願い、安心して子育てができる環境づくりを目指して活動しています。

普段から気になっている育児のことなど、母子保健推進員へお気軽にご相談ください。

## 主な活動内容

- 妊婦さんや乳幼児がいるご家庭を訪問(令和4年度家庭訪問延べ件数:1,211件)
- 乳幼児地区健康相談・子育て支援交流会を開催
- 愛育だよりの発行
- 乳幼児健診・保健事業のお手伝い
- 定例会や研修会を実施



▲乳幼児健診のお手伝い

## 利用者の声、母子保健推進員の声

家庭訪問を利用している<sup>せきね</sup>關根さん親子

家庭訪問を上の子のときから利用していて、気軽に何でも話することができる存在です。高橋さんとは、定期的に会ったり、電話で近況報告をしたり、相談できる相手として心強く感じます。ぜひ、今後も関わっていただきたいです。

訪問者 母子保健推進員の高橋さん

お母さんが地域で孤立しないよう、生活状況などを継続的に聞き、気軽に相談できる相手がいるかの確認をするとともに、子育て支援センターの案内をしています。どのお母さんも一生懸命に子育てをされています。



▲高橋さんと關根さん親子

# 子宮頸がんのことを知って、予防しましょう

健康政策課 ☎048(456)5370

近年、子宮頸がんの罹患年齢が若年化の傾向にあります。子宮頸がんは早期発見・早期治療することで治癒できるため、定期的ながん検診を受診することが大切です。

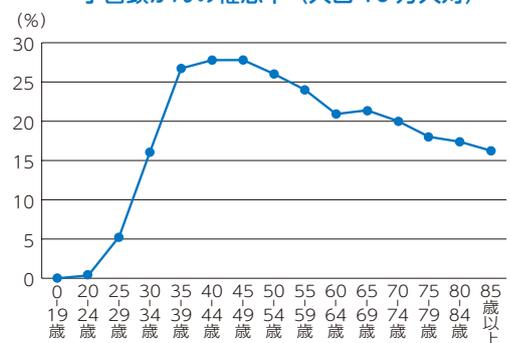
志木市のがん検診は2月末まで実施していますので、早めに受診しましょう。

## 子宮頸がんの特徴

- 子宮の入口にできるがんで、その原因の多くはHPV※（ヒトパピローマウイルス）の感染によるもの
- 20歳代から罹患率が増え、30～40歳代でピークを迎える
- 初期症状がほとんどなく、気がつくのが難しいものの、早期発見・早期治療することで治癒できる

※HPVは性的接触のある女性の50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。免疫の力で自然に排除されますが、10%の人は感染が持続し、そのうちの一部ががんに進行します。

子宮頸がんの罹患率（人口10万人対）



## 令和5年度の子宮頸がん検診対象者はご注意ください

令和5年度の子宮頸がん・子宮頸がんHPV併用検診の実施期間は2月29日(木)までです。この機会を逃すと、次に市の補助を受けて受診できるまで期間が空いてしまうため、対象となる人は必ず受診しましょう。

申込方法や対象年齢など詳しくは、市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページ